

レファレンス協同データベース事業 令和3年度事業報告

目次

1. 活動報告	2
(1) 事務局の活動（時系列）	2
(2) 事務局の活動（その他）	2
(3) 企画協力員による活動.....	3
(4) 参加館による活動.....	4
(5) サポーターによる活動.....	7
2. 統計	9
(1) 参加館数（令和4年3月末現在）	9
(2) データ登録件数（令和4年3月末現在）	10
(3) データの被参照件数（令和4年3月末現在）	11
(4) YAU (Yearly Active User) 数の推移	12
(5) 令和3年度御礼状送付.....	12
(6) 令和3年度企画協力員賞受賞館.....	12

1. 活動報告

(1) 事務局の活動（時系列）

日程	内容
令和3年	
8月31日	企画協力員会議（第1回）
9月6日	図書館情報学実習生受入れ
9月10日 9月29日	第17回レファレンス協同データベース事業担当者研修会
9月16日	講師派遣：岩手県市町村立図書館等職員専門研修（主催：岩手県立図書館）
10月12日	レファレンス協同データベース事業参加館アンケート（令和2年度実施）集計結果を事業ホームページに掲載
10月13日	れはっちのおでかけレポート 第13回を事業ホームページに掲載
11月1日～ 11月30日	第23回図書館総合展にて Web 展示を実施（動画やパンフレット等の掲載）
令和4年	
1月6日	企画協力員会議（第2回）
3月3日	第17回レファレンス協同データベース事業フォーラム「“続けること”が生み出すもの－継続的なデータ登録の工夫を探る－」
3月16日	国立国会図書館長からの御礼状送付、企画協力員賞授与

(2) 事務局の活動（その他）

a. 参加館へのサポート

レファ協活用に関する情報、研修等イベントの案内、おすすめデータの紹介等を掲載した参加館向けメールマガジン『レファレンス協同データベース事業参加館通信』を月1回（第425号～436号）発行した。また、システム停止その他の連絡事項周知のため、必要に応じて参加館通信号外を発行した。

参加館からのレファ協に関する問合せを受け付け、随時回答を行った。新たに参加館となった機関には、初期作業として最初のデータの登録を促した。また、レファ協への参加後に初めて一般公開されたデータに対しては、事務局からのコメント付与、参加館通信や Twitter での紹介等を行った。

b. 広報活動

Twitter のレファ協公式アカウント (@crd_tweet) において、登録データやイベント情報等を発信した。令和3年度の総ツイート数は2,940件、1日当たり平均ツイート数は約12件、令和4年3月末時点のフォロワー数は52,403アカウントである。令和3年3月末から令和4年3月末にかけて、フォロワー数の伸び率は約16%となっている。

c. システム改修

以下のシステム改修を行った。

- ・参考資料欄の入力支援機能（資料検索）を拡充
- ・「エディタサイズ拡大機能」の不具合を解消

d. 刊行物等への掲載

以下の記事で事業が紹介された。

- ・「謎を突き止める 図書館の力がすごかった」NHK NEWS WEB, 2021.4.28.
 <<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210428/k10013001701000.html>>
- ・「覚え違い 調べました」『毎日新聞』2021.10.18, 夕刊.
- ・「活字の海で：「バズる」図書館レファレンス」『日本経済新聞』2021.11.20.
- ・「Library of the Year 受賞機関一覧（2016年~2020年）」『ライブラリー・リソース・ガイド (LRG)』37号, 2021.秋, p.97.
- ・「春秋」『日本経済新聞』2022.1.18.

(3) 企画協力員による活動

a. レファレンス協同データベース事業企画協力員

(令和4年3月末時点。敬称略、五十音順)

井上 昌彦	関西学院大学図書館運営課課長補佐
小熊 ますみ	埼玉県立熊谷図書館 図書館協力、視聴覚資料・図書館振興担当司書主幹
小田 光宏	青山学院大学コミュニティ人間科学部学部長・教授
坂井 華奈子	独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所 学術情報センター図書館情報課課長代理
田子 環	神奈川県立厚木清南高等学校司書
谷本 達哉	羽衣国際大学人間生活学部准教授
西口 光夫	豊中市立庄内図書館長

b. 令和3年度の主な活動

<研修等での紹介>

- ・小熊 ますみ

令和3年5月28日、6月24日 埼玉県立図書館館内研修「レファレンスサービスのいろはプラス 参考調査事例集編集作業からの提案」			
主催	埼玉県立図書館研修計画委員会	参加人数	35名(5/28)、 10名(6/24)
内容	レファ協の入力とりまとめ担当者が講師となり、レファレンスの回答作成にあたってのポイントや注意点等を過去のレファ協入力事例をもとに講義。		

・坂井 華奈子

令和3年9月15日 図書館実習（館内研修）			
主催	アジア経済研究所図書館	参加人数	1名
内容	司書資格取得を目指す大学生の図書館実習。レファレンス業務の説明と模擬レファレンス実習の中でレファ協について説明。		
令和3年11月4日 講演会「専門図書館のデジタルサービスの取り組み——DXの流れのなかで」			
主催	BIC ライブラリ・アジア経済研究所図書館（共催）	参加人数	当日 67名 アーカイブ視聴回数 204回
内容	アジア経済研究所図書館の外部連携の中の一例としてレファ協を紹介し、またデジタル資料、インターネットを活用したレファレンス事例をレファ協登録事例から紹介。		
備考	オンライン開催（11月8日から11月30日までアーカイブ公開）		
令和3年12月2日、3日 令和3年度アジア情報研修「国際化するアジアの諸課題を調べよう！——国際機関の文書と統計を使って——」			
主催	国立国会図書館・アジア経済研究所（共催）	参加人数	25名
内容	国際機関が公開している文書や統計を使って課題を調査する方法を解説し、実習を行った。「科目2 統計から調べる」の事前課題解説スライドにてレファ協を紹介した。		

<授業での紹介>

・谷本 達哉

羽衣国際大学「コンピュータ応用演習Ⅰ（情報サービス演習Ⅰ）」

(4) 参加館による活動

<研修等での紹介>

・伊丹市立図書館本館「ことば蔵」

令和3年5月6日 おはなし会・手遊び研修			
主催	伊丹市立図書館本館「ことば蔵」児童室司書	参加人数	2名
内容	研修内で、レファ協に掲載しているおはなし会・手遊び関連事例を紹介した。		
令和3年6月25日 2021年度第1回学校司書研修会			
主催	伊丹市教育委員会事務局学校教育室学校指導課	参加人数	26名
内容	図書館を使った調べる学習コンクール関連講座「児童・生徒の興味を探る」の中で、興味を探るヒントになるツールとしてレファ協等を紹介した。		
令和3年7月1日 レファレンス研修「うろ覚え・覚え違いタイトルの特定」			
主催	伊丹市立図書館本館「ことば蔵」児童室司書	参加人数	2名
内容	レファ協で一般公開中の調べ方マニュアル「うろ覚え・覚え違いタイトルを特定する-当館受付事例より-」を踏まえながら、児童室で受け付けた事例を活用し、特定方法の講義を実施した。		

令和3年7月15日 2021年度第1回学校図書館教育担当者会			
主催	伊丹市教育委員会事務局学校教育室学校指導課	参加人数	26名
内容	学校司書の研修会の講座(6/25)で使用したレジュメを配布。		
備考	紙上開催		
令和3年7月22日～25日、7月30日～8月1日、4日、7日、14日 初任者研修			
主催	兵庫県教育委員会	参加人数	14名
内容	学校司書・図書担当者向けに配布した「児童・生徒の興味を探る」講座レジュメ等を配布。		
備考	紙上開催		
令和3年9月9日 図書館ボランティア「読み聞かせ隊はあと」勉強会			
主催	伊丹市立図書館本館「ことば蔵」児童室担当	参加人数	13名
内容	毎月実施しているボランティア勉強会にて、ことば蔵の業務・受賞情報に触れる中でレファ協について紹介した。		
令和3年9月12日 キッズ・サバイバー講座(洪水編)			
主催	伊丹市立図書館本館「ことば蔵」	参加人数	18名
内容	レファ協事業と、レファ協調べ方マニュアルに掲載の防災関係のブックリストを紹介した。		
令和3年10月7日 レファレンス研修			
主催	伊丹市立図書館本館「ことば蔵」児童室司書	参加人数	2名
内容	レファ協に登録したレファレンス事例をサイト活用事例として紹介した。		
令和3年10月26日、27日 伊丹市立東中学校 地域に学ぶ中学生・体験活動週間「トライやる・ウィーク」			
主催	兵庫県教育委員会	参加人数	108名
内容	ことば蔵の紹介・司書の仕事紹介でレファレンスサービスとレファ協事業、レファ協で公開中の事例を紹介した。		
令和3年10月22日 兵庫県立伊丹北高等学校 地域社会調査 中間報告会			
主催	兵庫県立伊丹北高等学校	参加人数	42名
内容	主催高校の1年次生が行う地域社会調査において、伊丹市の各担当課より生徒に向けて業務における課題を提示し、生徒が解決策を考え発表を行うもの。生徒のプレゼンで、レファ協が出典と思しきデータ(自館のレファレンス受付質問者の年齢層)が出たため、レファ協の説明を行った。		
令和3年11月27日 キッズ・サバイバー講座(地震編)			
主催	伊丹市立図書館本館「ことば蔵」	参加人数	6名
内容	レファ協事業と、レファ協調べ方マニュアルに掲載の防災関係のブックリストを紹介した。		
令和3年11月30日 兵庫県立伊丹北高等学校 地域社会調査 全体発表会			
主催	兵庫県立伊丹北高等学校	参加人数	270名
内容	図書館担当のグループは2つあり、レファレンスサービス担当のグループからは、レ		

	ファ協やれはっちを使ったレファレンスのPRのアイデアが出た。講師からレファ協について補足説明を行った。		
令和4年1月22日 気になる本で話そう			
主催	伊丹市立図書館本館「ことば蔵」	参加人数	6名
内容	イベント内でレファ協事業、レファ協調べ方マニュアルに掲載の「LGBTQIA+絵本」のブックリストを紹介した。		

・愛媛県立図書館

令和3年6月16日 「図書館業務のあらまし」研修会			
主催	愛媛県図書館協会	参加人数	8名
内容	愛媛県図書館協会加盟館（室）職員及び図書館担当職員のうち、新規採用者及び転入者を主な対象とする研修。国立国会図書館のサービスのひとつとして「レファレンス協同データベース」を紹介した。		
備考	オンライン開催		

・神奈川県学校図書館員研究会

令和3年4月23日 令和3年度新規採用学校司書研修 第2回			
主催	神奈川県教育局総務室	参加人数	6名
内容	講義「資料提供・予約制度・選定」の中で、レファ協について説明した。		
令和3年5月 学校司書等実務研修春期全体研究会			
主催	-	参加人数	198名
内容	レファレンス委員会より、レファ協に関する資料を会員にメール配信し、活用をよびかけた。（書面開催）		
備考	書面開催		
令和3年6月18日 令和3年度新規採用学校司書研修 第4回			
主催	神奈川県教育局総務室	参加人数	5名
内容	講義「カウンター業務」の中でレファ協を紹介した。		
令和4年1月18日 神奈川県学校図書館員研究会冬期全体研究会			
主催	神奈川県学校図書館員研究会	参加人数	約140名
内容	レファレンス委員会より、活動内容の報告と提案を行った。		
備考	オンライン開催		

・国立国会図書館

令和3年4月16日 利用者サービス部門新規配属職員研修			
主催	国立国会図書館利用者サービス部	参加人数	60名
内容	プログラムの一部で、レファ協について説明した。		
備考	対面とオンライン会議ツールを併用して実施した。		

・佐世保市立図書館

令和3年7月4日 令和3年度図書館活用講座～オンライン編～			
主催	佐世保市立図書館	参加人数	7名（他、地元テレビ局・報道2名）
内容	図書館の使い方、資料の探し方などについて、市民（大人）向けにガイドする講座。非来館型のサービスを意識した内容とし、レファ協事業や佐世保市立図書館作成事例について紹介した。		
備考	初めて Zoom で開催した。		

・東京都江戸東京博物館 図書室

令和3年4～5月 図書室利用職員研修			
主催	東京都江戸東京博物館 図書室	参加人数	3名
内容	毎年新任職員に対して行われる図書室利用案内の中で、レファ協についても概要と利用方法を説明した。		

<刊行物等への掲載>

- ・蒲郡市立図書館
「全国で5館だけ「トリプル評価」も」『東日新聞』2021.4.2.
「調べもの協同事業で初のトリプル評価」『東愛知新聞』2021.4.17.
- ・幸田町立図書館
「レファレンス事例活発公開 幸田町立図書館を表彰」『中日新聞』2021.5.29.
- ・福井県立図書館
『100万回死んだねこ：覚え違いタイトル集』（講談社、2021）を刊行
関連記事が各種メディアに多数掲載

(5) サポーターによる活動

サポーターは登録データへのコメント付与や当事業の広報等の活動を行っている。令和4年3月末時点で64名が登録されている。

<研修等での紹介>

- ・寺尾 隆

令和3年7月10日 実践的データベース検索演習			
主催	福岡工業大学附属図書館	参加人数	8名
内容	レファ協研修環境に検索演習用の調べ方マニュアルを登録し、そのサイトを活用し実施した。		
令和3年8月21日 レファレンス遠隔研修 基礎編			
主催	紀伊國屋書店	参加人数	9名

内容	事前課題：自館またはレファ協の事例を再調査し、研修環境に登録。 研修当日：プレゼン、ディスカッション。 事後課題：データ修正、アンケート提出。		
備考	研修当日は Zoom を利用		
令和3年12月11日 レファレンス遠隔研修 応用編 未解決レファレンスにチャレンジ！			
主催	紀伊國屋書店	参加人数	9名
内容	事前課題：自館またはレファ協未解決事例に限定して再調査し、研修環境に登録。 研修当日：プレゼン、ディスカッション。 事後課題：データ修正、アンケート提出。		
備考	研修当日は Zoom を利用		
令和4年2月19日 企業情報データベース演習			
主催	紀伊國屋書店	参加人数	10名
内容	研修環境に検索演習用の調べ方マニュアルを登録し、そのサイトを活用し実施した。		

・河野 幸徳

令和3年8月6日 大阪市学校図書館補助員に向けた研修			
主催	大阪市教育委員会	参加人数	約20名
内容	「レファレンス事例紹介」の中でレファ協と登録事例を紹介した。		

<授業での紹介>

・徳田 恵里

近畿大学「情報サービス演習Ⅰ・Ⅱ（司書課程）」

2. 統計

(1) 参加館数（令和4年3月末現在）

今年度も参加館数は着実に増加している。事業からの脱退が2件あったが、これは組織再編や参加単位の変更に伴う脱退である。

館種	令和元年度 まで	令和2年度 まで	令和3年度 合計	令和3年度 増	令和3年度 減
公共図書館	483	501	514	15	2
都道府県	53	53	53	0	0
政令指定都市	25	25	25	0	0
市町村	405	423	436	15	2
大学図書館	197	203	206	3	0
国立大学	49	50	51	1	0
公立大学	20	20	20	0	0
私立大学	127	132	134	2	0
高等専門学校	1	1	1	0	0
専門図書館	62	63	65	2	0
学校図書館	63	65	73	8	0
アーカイブズ※	10	10	10	0	0
国立国会図書館※	13	13	13	0	0
合計	828	855	881	28	2

※ 「アーカイブズ」は、平成27年7月に館種区分「その他」から変更。

※ 国立国会図書館には支部図書館を含む。

<令和3年度新規参加館>（参加承認順。*の館は、参加単位変更による新規参加）

公共図書館

沼津市立図書館、八千代市立図書館*、沖縄市立図書館、赤穂市立図書館、中津川市立図書館、輪島市立門前図書館、みどり市教育委員会 教育部社会教育課 みどり市立笠懸図書館、室蘭市図書館、佐川町立図書館、軽井沢町立図書館、別府市立図書館、北広島市図書館、真岡市立図書館、菊池市立図書館、御所市立図書館

大学図書館

桜の聖母短期大学図書館情報センター、大分大学学術情報拠点（図書館）、大阪総合保育大学・大阪城南女子短期大学附属図書館

専門図書館

長野県立美術館 アートライブラリー、みどりの図書館 東京グリーンアーカイブス

学校図書館

岐阜県立本巣松陽高等学校、熊本県立熊本聾学校、群馬県立利根実業高等学校図書館、宮崎県立日向工業高等学校、学校法人甲南学園甲南小学校、熊本県立熊本北高等学校、熊本県立水俣高等学校、千曲市立東小学校図書館

(2) データ登録件数（令和4年3月末現在）

令和3年度末のデータ登録件数は対前年度比で約107%と増加した。年度ごとの新規データ登録数も、前年度に比べて約15%増加した。

a. 館種別・公開レベル別データ登録件数

	公共 図書館	大学 図書館	専門 図書館	学校 図書館	アーカ イブズ	国立国会 図書館	合 計
レファレンス事例	190,333	25,996	21,155	5,491	3,027	23,254	269,256
一般公開	98,151	12,490	6,642	2,787	785	22,377	143,232
参加館公開	11,116	2,839	494	188	268	29	14,934
自館参照	81,066	10,667	14,019	2,516	1,974	848	111,090
調べ方マニュアル	8,721	666	226	795	35	1,108	11,551
一般公開	2,249	470	153	533	6	981	4,392
参加館公開	5,935	38	5	7	2	3	5,990
自館のみ参照	537	158	68	255	27	124	1,169
特別コレクション	373	123	657	14	5	328	1,500
一般公開	257	52	585	13	0	315	1,222
参加館公開	69	7	0	0	4	2	82
自館のみ参照	47	64	72	1	1	11	196
参加館プロフィール	514	206	65	73	10	13	881
一般公開	514	206	65	73	10	13	881
参加館公開	0	0	0	0	0	0	0
自館のみ参照	0	0	0	0	0	0	0
合 計	199,941	26,991	22,103	6,373	3,077	24,703	283,188
一般公開	101,171	13,218	7,445	3,406	801	23,686	149,727
参加館公開	17,120	2,884	499	195	274	34	21,006
自館のみ参照	81,650	10,889	14,159	2,772	2,002	983	112,455

b. 年度ごとのデータ登録数

	レファレン ス 事例	調べ方 マニュアル	特別 コレクショ ン	参加館 プロフィール	合 計	総登録数
平成16年度	13,620	167	158	283	14,228	14,228
平成17年度	6,557	190	73	107	6,927	21,155
平成18年度	4,087	183	5	52	4,327	25,482
平成19年度	4,841	197	21	10	5,069	30,551
平成20年度	5,682	5,928	13	27	11,650	42,201
平成21年度	8,759	223	10	32	9,024	51,225
平成22年度	13,646	307	28	29	14,010	65,235
平成23年度	17,956	543	54	20	18,573	83,808
平成24年度	23,079	361	124	23	23,587	107,395

平成25年度	20,830	688	△84	34	21,468	128,863
平成26年度	15,937	331	14	39	16,321	145,184
平成27年度	19,133	1,184	43	41	20,401	165,585
平成28年度	21,845	△16	20	44	21,893	187,478
平成29年度	18,084	320	48	28	18,480	205,958
平成30年度	18,436	195	19	36	18,686	224,644
令和元年度	23,715	397	350	23	24,485	249,129
令和2年度	15,315	208	277	27	15,827	264,956
令和3年度	17,734	145	327	26	18,232	283,188

(3) データの被参照件数（令和4年3月末現在）

クローラによるアクセスを抑制する対応の関係で、平成30年度は件数が減少したが、令和元年度以降は順調に増加している。

	レファレンス 事例	調べ方 マニュアル	特別 コレクション	参加館 プロファイル	合計
平成16年度	23,822	1,739	1,571	2,384	29,516
平成17年度	135,633	6,698	2,701	6,729	151,761
平成18年度	372,923	27,322	2,342	11,852	414,439
平成19年度	934,783	49,622	3,899	18,416	1,006,720
平成20年度	1,506,785	65,456	5,929	22,252	1,600,422
平成21年度	2,423,254	99,378	5,654	27,358	2,555,644
平成22年度	6,407,952	209,039	30,826	69,851	6,717,668
平成23年度	6,944,084	280,387	41,394	81,423	7,347,288
平成24年度	7,674,019	252,109	49,852	247,650	8,223,630
平成25年度	16,530,577	480,292	57,026	206,606	17,274,501
平成26年度	23,224,613	585,411	53,553	221,590	24,085,167
平成27年度	37,004,963	869,274	71,193	292,745	38,238,175
平成28年度	40,015,309	1,037,071	76,624	304,633	41,433,637
平成29年度	51,904,330	821,923	68,706	301,160	53,096,119
平成30年度	35,467,747	610,716	48,423	326,648	36,453,534
令和元年度	42,634,969	710,865	80,514	701,272	44,127,620
令和2年度	50,338,506	823,358	109,303	708,052	51,979,219
令和3年度	55,064,078	731,223	152,777	544,063	56,492,141

※ 被参照数は、各データの詳細表示画面の表示回数。

※ レファレンス事例データ、調べ方マニュアルデータ、特別コレクションデータ及び参加館プロファイルデータにつき、参加館用システム・一般公開用システム双方からの被参照件数を合計した。

※ 一般公開の開始に伴い、平成17年12月15日から一般用画面統計を採取。

※ システムへの負荷を避けるため、平成29年6月末以降、クローラによるアクセスを抑制する対応を行っている。

(4) YAU (Yearly Active User) 数の推移

YAU (Yearly Active User) とは、公開レベルを問わず、1年間で1件以上、レファレンス協同データベースにレファレンス事例、調べ方マニュアル又は特別コレクションを登録した参加館の総数である。YAU 数は順調に進展しているものの、参加館総数に占める YAU の割合は 30%台後半で推移している。

	YAU	参加館総数	YAU 比率
平成 27 年度	250	697	35.9%
平成 28 年度	272	741	36.7%
平成 29 年度	287	769	37.3%
平成 30 年度	294	805	36.5%
令和元年度	300	828	36.2%
令和 2 年度	304	855	35.6%
令和 3 年度	329	881	37.3%

(5) 令和 3 年度御礼状送付

令和 3 年度は 78 館に御礼状を送付した。御礼状対象館はレファ協ウェブサイト内「令和 3 年度 国立国会図書館長からの御礼状送付>対象館一覧」を参照のこと。

(6) 令和 3 年度企画協力員賞受賞館

御礼状送付の基準には当てはまらないが、様々な観点からレファ協に貢献している参加館へ企画協力員賞を授与している。企画協力員で議論を行い、令和 3 年度は下記の 1 館を選定した。

- ・香芝市民図書館

(選定理由) 職員数が少ない中で、継続的にデータの登録を行っている。

¹ https://crd.ndl.go.jp/library/thanks_R3.html#list